

翻字翻訳『新刊清文指要』(1)

竹越 孝

<まえがき>

本稿は、清代の満漢合璧会話書『新刊清文指要』(嘉慶23年【1818】刊本)について、満洲文字をローマ字に翻字するとともに、日本語で逐語訳を付した資料である。『清文指要 manju gisun i oyonggo jorin i bithe』と言われる書物に大きく分けて二つの系統が存在することは、荒木典子(2010)により明らかにされたが、仮にこれを原刊本の系統と校正本の系統と呼ぶならば、本稿が対象とするのは校正本の系統である。

原刊本系統の『清文指要』は、後半部分を『續編兼漢清文指要』と称し、巻頭に年代不明の序と「字音指要」を持つテキストである。現存の刊本としては、乾隆54年【1789】双峯閣刊本、嘉慶14年【1809】三槐堂重刊本、同年大酉堂重刊本等が知られる。この系統の『清文指要』については、張華克(2005a, b)が天理大学附属天理図書館所蔵本のマイクロフィルム(雄松堂1966)に基づき満洲文字の翻字と中国語訳を公表している。

本稿で取り上げる校正本は序や「字音指要」を欠き、原刊本系統の満洲語と中国語に対し一定の改変を施したものである。内題は同じく「清文指要 manju gisun i oyonggo jorin i bithe」であるが、題簽は「新刊清文指要 ice foloho manju gisun i oyonggo jorin i bithe」としており、本稿では区別のためこの書名を取ることにした。

『新刊清文指要』の存在については渡部薫太郎(1932)が最初に言及し、『一百条 tanggū meyen』の訳注である浦・伊東(1957)においても参照されている。管見の限り、日本では広島大学附属図書館浦文庫(所蔵番号340-17)及び内田慶市氏蔵本、中国では北京大学図書館及び大連図書館、ヨーロッパでは The School of Oriental and African Studies, University of London(所蔵番号II.1.Man.78)及びBibliothèque Nationale(所蔵番号M.57)といったところに所蔵が確認される。本稿の記述は内田慶市氏蔵本に基づくものである。閲覧を許された内田氏には深く感謝申し上げる。なお、同本は関西大学の「近代中国語文献資料データベース」に収録される予定といい、これについては氷野善寛(2011)を参照されたい。

『新刊清文指要』は冊大25.2×15.5cm、二巻二冊、上巻62葉、下巻65葉。四周双辺、半葉の匡郭19.5×13.0cm。版心は白口、上黒魚尾、魚尾の上に書名

「清文指要」、下に巻と葉数。下巻の巻末には満漢両文で「嘉慶二十三年六月校正重刊板存西安將軍署内」という刊記と、「印房協領存福、佐領兆俊、塔瑚禮率同／舉人馬甲瑚遜布、徳布、富明阿、前鋒小旗花沙布校閱／委驍騎校珠爾杭阿、馬甲全徳、班吉善、塔靈阿、伯福、都爾松阿、克蒙額、圖瓦綳阿、徳明保、武綳額、烏雲泰書寫清字／貢生馬甲舒清阿、文生員前鋒札坤珠、前鋒科布通武、馬甲色爾通額書寫漢字／委前鋒校愛仁布監視刊刻」（区切りの記号は筆者）という刊行関係者のリストがある。毎半葉7行、1行は左に満洲語、右に中国語が配される。全100話からなり、その套話配列は原刊本の系統に等しい。各話の始まりは最初の文がやや高い位置に始まることで示され、各話の終わりは最後の文の後に句点（vに似た記号）が二つ重ねられることで示される。

本稿では、『新刊清文指要』の全体像を提示することによって、『清文指要』諸版本の研究、及び『一百条』系諸本における継承関係の研究を行うための基礎資料を提供したいと思う。

<参考文献>

- 荒木典子（2010）『清文指要』異本間の対照—“無”と“没”の例—『開篇』29：65-69.
- 浦廉一・伊東隆夫（1957）「Tanggū Meyen（清話百条）の研究」『広島大学文学部紀要』12：75-277.
- 遠藤光暁・竹越孝主編（2011）『清代民國漢語文獻目録』ソウル：學古房.
- 竹越孝（2011）『『一百条』系の漢語鈔本について』『汲古』59：70-77.
- 竹越孝（2012）『兼滿漢語滿洲套話清文啓蒙—翻字・翻訳・索引—』（神戸市外国語大学研究叢書49）神戸：神戸市外国語大学外国学研究所.
- 張華克（2005a）『清文指要解讀』（滿語叢刊11）臺北：文史哲出版社.
- 張華克（2005b）『續編兼漢清文指要解讀』（滿語叢刊14）臺北：文史哲出版社.
- 中村雅之（2008）「漢語音を表す滿洲文字の翻字法について」『KOTONOHA』66：1-4.
- 氷野善寛（2011）「近代中国語文獻資料データベース構築にむけて」『東アジア文化交渉研究』4：273-288.
- 渡部薫太郎（1932）『増訂滿洲語図書目録』大阪：大阪東洋学会.
- 雄松堂（1966）『天理図書館所蔵滿語文獻集・語学編』東京：雄松堂フィルム出版.
- Möllendorff, P. G. von (1892) *A Manchu Grammar, with Analyzed Text*. Shanghai: American Presbyterian Mission Press.

<凡例>

- 本稿は、『新刊清文指要』の満洲文字をローマ字に翻字するとともに、日本語で逐語訳を付した資料である。
- 『新刊清文指要』では毎行左に満洲語文、右に中国語文が配される。本稿では套話番号を< >内に示し、中国語文のまとまり及び満洲語文の句点（本稿ではこれを「。」で表す）ごとに改行した上で（両者がずれる場合は中国語文のまとまりを優先する）、套話の番号と句の番号を掲げ、満洲語文の翻字、満洲語文の逐語訳、中国語文の翻字の順に示す。また、末尾の（ ）内にはその部分の出处を巻・葉・表裏の順で記す。
- 本稿では、句番号に「*」を付すことにより話者の転換を表示する。「*」から「*」までの間が同一話者の台詞という解釈になる。その認定は原則として浦・伊東（1957）に基づく。
- 満洲文字の翻字は Möllendorff 式による。ただし、当該方式で中国語音の表記に用いられる付加記号「'」は「'」で表し、ピンイン ci にあたる翻字「ts」は「ts'y」に改める。これについては中村雅之（2008）を参照。
- 漢字は原則として原文のままの字体を用いるが、一部の異体字・俗字は通用の字体に改めた。

manju gisun i oyonggo jorin i bithe.

満洲語の重要な指示の書

清文指要 (上 1a1)

dergi debtelin.

上巻

巻上 (上 1a1)

<第1話>

1-1* donjici si te manju bithe tacimbi sembi.

聞けば君今満洲書物学ぶという

聽見説你如今學満洲書呢 (上 1a2)

1-2 umesi sain.

大変良い

狠好 (上 1a2)

1-3 manju gisun serengge.

満洲語というもの

清話者 (上 1a2-3)

1-4 musei ujui uju oyonggo baita.

我々の第一の第一重要な事

是咱們頭等頭要緊的事 (上 1a3)

1-5 uthai nikasai meimeni bai bejilere gisun i adari.

即ち漢人達のそれぞれ所の隠語のよう

就像漢人們各處的鄉談一樣 (上 1a3-4)

1-6 bahanarakūci ombio.

できないでもよいか

不會使得嗎 (上 1a4)

1-7* inu.

そうだ

是 (上 1a4)

1-8 waka oci ai.

違うなら何だ

可不是什麼 (上 1a4-5)

1-9 bi juwan aniya funceme nikan bithe taciha.

私十年余り漢書物学んだ

我學了十數年的漢書 (上 1a5)

- 1-10 tetele umai dube da tucikekū.
 今まで全く 芽 出なかった
 至今並無出箇頭緒 (上 1a5-6)
- 1-11 jai aikabade manju bithe hūlarakū.
 更に もしも 満洲 書物 読まない
 再若是 不念 滿洲 書 (上 1a6)
- 1-12 ubaliyambure be tacirakū oci.
 翻訳すること を 学ばない ならば
 不學 繙 譯 (上 1a7)
- 1-13 juwe de gemu sartabure de isinambi.
 二つで みな 遅らせる に 至る
 兩下裡 都 至於 耽擱 (上 1a7-1b1)
- 1-14 uttu ofi.
 そう なので
 因此 上 (上 1b1)
- 1-15 bi emude oci age be tuwanjiha.
 私 第一には 兄 を 訪ねに来た
 我一則 來 瞧 阿哥 (上 1b1)
- 1-16 jai de oci geli sakda ahūn de baire babi.
 第二には また 老いた 兄 に 求める 所ある
 再還有 求 老長 兄 的 去處 (上 1b2)
- 1-17 damu baibi angga juwara de mangga.
 ただ 何となく 口 開くの に 難しい
 但只難 開口 (上 1b2-3)
- 1-18* ede aibi.
 これに 何がある
 這有 什 麼 (上 1b3)
- 1-19 gisun bici uthai gisure.
 話 あれば 即ち 話せ
 有 話 就 說 (上 1b3-4)
- 1-20 mini mutere baita oci.
 私の できる 事 ならば
 若是我 能 的 事 (上 1b4)
- 1-21 sinde bi geli marambio.
 君に 私 また 断るか
 在你 跟前 我還 辭 嗎 (上 1b4)

- 1-22* mini bairengge.
 私の 求めること
 我 所 求 (上 1b4-5)
- 1-23 age gosici.
 兄 慈しむならば
 阿 哥 若 疼 愛 (上 1b5)
- 1-24 šadambi seme ainara.
 疲れる としても よい
 就 是 乏 些 也 罷 (上 1b5)
- 1-25 šolo šolo de udu meyen i manju gisun banjibufi.
 暇 暇 に 幾つか 段落 の 満洲 語 編集し
 得 空 兒 求 編 幾 條 清 話 (上 1b5-6)
- 1-26 minde hūlabureo.
 私に 読ませてくれ
 教 我 念 念 (上 1b6)
- 1-27 deo bi bahafi hūwašaci.
 弟 私 成人すること できれば
 兄 弟 若 能 出 息 (上 1b6-7)
- 1-28 gemu age i kesi kai.
 みな 兄 の お蔭 だぞ
 都 是 阿 哥 恩 惠 啊 (上 1b7)
- 1-29 ainaha seme baili be onggorakū.
 どう あつても 恩 を 忘れない
 斷 不 肯 忘 恩 (上 1b7-2a1)
- 1-30 urunakū ujeleme karulaki.
 必ず 厚く 報いたい
 必 然 重 報 (上 2a1)
- 1-31* ainu uttu gisurembi.
 なぜ こう 話す
 怎 麼 這 樣 說 (上 2a1)
- 1-32 si aika gurun gūwao.
 君 まさか 国 別か
 你 想 是 別 人 嗎 (上 2a1-2)
- 1-33 damu sini tacirakū be hendumbi dere.
 ただ 君の 学ばないこと を 言うの だぞ
 只 說 你 不 學 罷 咧 (上 2a2)

- 1-34 taciki seci tetendere.
 学びたい という からには
 既然要學 (上 2a2-3)
- 1-35 bi nekulefi simbe niyalma okini sembikai.
 私 乗じて 君を 人 にしてもよい と思うぞ
 我巴不得的願你成人呢 (上 2a3)
- 1-36 karulaki serengge ai gisun.
 報いたい というもの 何の 話
 要報答是什麼話 (上 2a3-4)
- 1-37 musei dolo gisureci ombio.
 我々の 中で 話すこと できるか
 咱們裡頭說得嗎 (上 2a4)
- 1-38* tuttu oci.
 そう ならば
 若是那們着 (上 2a4)
- 1-39 bi hukšeme gūniha seme wajirakū.
 私 有難く 思った として 尽きない
 我感念不盡 (上 2a4-5)
- 1-40 damu hengkišeme baniha bure dabala.
 ただ 叩頭して 感謝 与える だけだ
 就只是磕頭道謝罷咧 (上 2a5)
- 1-41 ai sere..
 何 言う
 說什麼 (上 2a5)

<第2話>

- 2-1* age sini manju gisun.
 兄 君の 満洲 語
 阿哥你的清話 (上 2a6)
- 2-2 ai šolo de taciha.
 何の 暇 に 学んだ
 什麼空兒裡學了 (上 2a6)
- 2-3 mudan gairengge sain bime tomorhon.
 音 取ること 良く あり 明瞭だ
 話韻好而且清楚 (上 2a6-7)

- 2-4* mini manju gisun be ai dabufi gisurere babi.
私の 満洲 語 を どう 認めて 話す 所ある
我的 清話 那裡 提得 起來 (上 2a7)
- 2-5 age gosime uttu dabali maktambi.
兄 慈しんで こう 過度に 称賛する
阿哥 疼愛 這樣 過獎 (上 2a7-2b1)
- 2-6 mini emu gucu i manju gisun sain.
私の 一人 友人の 満洲 語 良い
我的一箇 朋友的 清話 好 (上 2b1-2)
- 2-7 getuke bime dacun.
正確 であり 鋭利だ
明白 又快 (上 2b2)
- 2-8 majige nikan mudan akū.
少しも 漢 音 ない
一点 漢音 没有 (上 2b2)
- 2-9 umesi urehebi.
大変 熟達している
狠 熟了 (上 2b2)
- 2-10 tuttu bime šan geli fe.
そう であって 耳 また 古い
而且 聽見的 老話 又多 (上 2b3)
- 2-11 tere teni mangga seci ombi.
それ やっと 巧い と言うこと できる
那 纔 算得 是 精 呢 (上 2b3)
- 2-12* tere sinci antaka.
彼 君より どうか
他 比你 如何 (上 2b3-4)
- 2-13* bi adarame inde duibuleci ombi.
私 どうして 彼に 比べること できる
我 如何 比得 他 (上 2b4)
- 2-14 fuhali teni bakcin waka.
全く 彼の 相手 でない
竟 不是 他的 對兒 (上 2b4-5)
- 2-15 abka na i gese giyalabuhabi.
天 地 の ように 隔てられている
天地 懸隔 (上 2b5)

- 2-16 turgun ai seci.
原因 何 と言え
什 麼 緣 故 呢 (上 2b5)
- 2-17 ini tacihangge šumin.
彼の 学んだこと 深い
他 學 的 深 (上 2b6)
- 2-18 bahanahangge labdu.
できたこと 多い
會 的 多 (上 2b6)
- 2-19 bithe de amuran.
書物 が 好きだ
好 讀 書 (上 2b6)
- 2-20 tetele hono angga ci hokoburakū hūlambi.
今まで なお 口 から 絶え間なく 読む
至 今 還 是 不 住 口 的 念 (上 2b6-7)
- 2-21 gala ci aljaburakū tuwambi.
手 から 離さず 見る
不 離 手 的 看 (上 2b7)
- 2-22 imbe amcaki seci yargiyan i mangga.
彼に 追いつこう と思えば 本当 に 難しい
要 赶 他 實 在 難 (上 3a1)
- 2-23* age sini ere gisun majige tašarabuhakū semeo.
兄 君の この 話 少し 間違わなかった と思うか
阿 哥 你 這 個 話 不 錯 了 些 兒 嗎 (上 3a1-2)
- 2-24 hing sere oci hada hafumbi sehebi.
一 心 ならば 峰 穴があく と言ったぞ
心 欲 專 山 可 穿 的 話 呀 (上 3a2)
- 2-25 tere inu tacifi bahanahangge dabala.
彼 も 学んで できたもの に過ぎない
他 也 是 學 會 的 罷 咧 (上 3a2-3)
- 2-26 umai banitai bahanarangge waka kai.
全く 天性で できるもの でない ぞ
並 非 生 来 就 會 的 (上 3a3)
- 2-27 muse tede isirakūngge ya ba.
我々 彼に 及ばないもの どの 所
咱 們 那 一 点 不 如 他 (上 3a3-4)

- 2-28 i ai hacin i urehe bahanahangge okini.
 彼 どの よう に 熟達した できた人 でもよい
 憑 他 是 怎 麼 樣 的 精 熟 (上 3a4)
- 2-29 muse damu mujilen be teng seme jafafi gūnin girkūfi tacici.
 我々 ただ 心 を がっちり と 握み 考え 専一にして 学べば
 咱 們 只 是 拿 定 主 意 專 心 學 去 (上 3a5)
- 2-30 udu tere ten de isiname muterakū bicibe.
 とても 彼の 境地 に 及ぶこと できない けれども
 雖 然 不 能 到 他 那 個 地 步 (上 3a5-6)
- 2-31 inu urunakū haminambidere..
 また 必ず 近づいてくるぞ
 也 必 定 差 不 遠 罷 (上 3a6)

<第3話>

- 3-1* si nikan bithe bahanara niyalma kai.
 君 漢 書物 できる 人 だぞ
 你 是 會 漢 書 的 人 啊 (上 3a7)
- 3-2 ubliyambure be tacici. nokai ja dabala.
 翻訳すること を 学ぶなら とても 容易な だけだ
 學 繙 繹 狠 容 易 罷 咧 (上 3a7-3b1)
- 3-3 gūnin girkūfi giyalan lakcan akū.
 考え 専一にして 中断 区切り なく
 專 上 心 不 間 斷 (上 3b1)
- 3-4 emu anan i tacime ohode.
 一つ 順序 で 学んで いたら
 一 氣 兒 學 了 去 (上 3b1-2)
- 3-5 juwe ilan aniya i sidende.
 二 三 年 の 間 に
 二 三 年 間 (上 3b2)
- 3-6 ini cisui dube da tucimbi.
 自然に 芽 出る
 自 然 出 個 頭 緒 (上 3b2-3)
- 3-7 aika emu inenggi fiyakiyara juwan inenggi šahūrara adali tacici.
 もし 一 日 曝す 十 日 冷える ように 学べば
 要 像 一 暴 十 寒 的 學 (上 3b3-4)

- 3-8 uthai orin aniya bithe hūlahā seme inu mekele kai.
 たとえ二十年書物読んだとしても空しいぞ
 就念二十年的書也是枉然啊(上3b4)
- 3-9* age mini ubaliyambuhangge be tuwafi majige dasatarao.
 兄私の翻訳したものを 見て 少し 直してくれ
 求阿哥看了我的繙譯改一改(上3b5)
- 3-10* sini tacihangge labdu nongibuha.
 君の学んだこと 多く 延びた
 你學的大長了(上3b5-6)
- 3-11 gisun tome ijishūn.
 言葉 ごとに 素直だ
 句句順當(上3b6)
- 3-12 hergen aname tomorhon.
 字 ごとに 明瞭だ
 字字清楚(上3b6)
- 3-13 majige cilcin fuhali akū.
 少しの 汚点 全く ない
 没有一点眩星(上3b6-7)
- 3-14 simneci seferehei bahaci ombi.
 受験すれば 掴んだまま 得ること できる
 要考操券可得(上3b7)
- 3-15 ere mudan ubliyambure be sinnere de.
 この たび 翻訳すること を 受験するの に
 這一次考繙譯(上3b7-4a1)
- 3-16 gebu alibuhao akūn.
 名前 提出したか 否か
 遞了名字了没有(上4a1)
- 3-17* simneci ombi seci.
 受験すること できる ならば
 若考得(上4a1)
- 3-18 esi sain.
 もちろん 良い
 自然好(上4a1)
- 3-19 damu bithei šusai ainahai ombini.
 ただ 文の 秀才 どうして できようか
 但只文秀才未必使得(上4a2)

- 3-20* wei kooli.
誰の例
那個的例 (上 4a2)
- 3-21 sini gesengge jakūn gūsa gemu simneci ombime.
君のようなもの 八旗 みな 受験すること できるのに
像你這樣的八旗都考得 (上 4a2-3)
- 3-22 simbe teile simneburakū doro bio.
君を だけ 受験させない 道理 あるか
有獨不准你考的理嗎 (上 4a3)
- 3-23 tere anggala.
それのみならず
況且 (上 4a4)
- 3-24 jurgangga tacikūi juse gemu ojoro bade.
義 学の 子供 みな できる のに
義學生都還使得 (上 4a4)
- 3-25 šusai be ai hendure.
秀才を どう 言う
秀才何用說呢 (上 4a4-5)
- 3-26 simneci ome ofi.
受験すること できる ので
因為考得 (上 4a5)
- 3-27 sini deo ere sidende.
君の弟 この 間に
我兄弟這個空兒裡 (上 4a5)
- 3-28 teni hacihiyame manju bithe hūlambikai.
やっと 努めて 満洲 書物 読むぞ
纔上緊念清書呢 (上 4a5-6)
- 3-29 hūdun gebu yabubu.
早く 名前 送れ
快行名字 (上 4a6)
- 3-30 nashūn be ume ufarabure.
機会 を 決して 失わせるな
別錯過了機會啊 (上 4a6)

[待続]